

my home town machi-omoi-cho 2018

あべのすじ帖



文・制作／野村監督

ほく ころ こ きみ ふるさと
僕が転がり込んだマチ。ここが君の故郷になった。

阿倍野筋4丁目の裏路地(1)

あへのすじ よんちょうめ うらろじ



こきょう とお はな おおさか

故郷から遠く離れた大阪で

けっこん つま じっか ころ こ

結婚して妻の実家に転がり込んだ。

きみ う

そして、君が生まれた。

りゆう きみ こきょう

そんな理由で君の故郷は

あへのすじ

阿倍野筋になった。

阿倍野筋4丁目の裏路地(2)

あべのすじ よんちょうめ うらろじ



にほんいち たか みお
日本一高いビルに見下ろされて

く
暮らすことになった。

みち ま
でも、道に迷ったとき、

めさ
これを目指せば

かえ
なんとなく帰ってこられる。

阿倍野筋1丁目・商店街

あべのすじ いっちょうめ しょうかい



にほん さんてんほ
日本に3店舗しかない

プリキュアプリティストアに^{ちか}近い。

その^き気になれば、

いつだってヒロインになれる。

阿倍野筋2丁目・商店街

あべのすじ

にちょうめ

しょうてんがい



ゲーセンもガチャガチャも

ふらりと立ち寄れるところにある。

前を通るたび、

誘惑に打ち勝つチカラが磨かれていく。

阿倍野交差点

あべのこうさてん



ろめんでんしゃ はんかいでんしゃ
路面電車(阪堺電車)が

ふつう はし
普通に走っている。

ひかてき はや
比較的早く「チンチン」という

ことば し
言葉を知ることになった。

阿倍野元町

あべのもたち



しちごさん はつもうて さい
七五三、初詣の際に、

うじがみ あべおうじんじゃしゃ
氏神さまである「阿倍王子神社」

で、

かお だ
顔を出すようになった。

阿倍野筋4丁目

あべのすじ よんちょうめ



はんしんこうそく こうかした こうえん
阪神高速 高架下の公園は、

あめ ふ あそ
雨が降っても遊べる。

あめ ひ うち
「雨の日はお家でゆっくり」という

おとな い ぶん つうよう
大人の言い分が通用しなくなった。

阿倍野筋5丁目

あべのすじ 5丁目



あべの筋^{すじ}沿^{ほど}いの歩道は、

自^{じてんしゃ}転車^{はし}がビュンビュンと走^{はし}ってくる。

背^{はいご}後の^{けはい}気配^{さっち}を察^{かんかく}知^{かんかく}する感^{かんかく}覚^{かんかく}が

と^とす^す研^{とす}ぎ澄^{とす}まされてい^{とす}った。

阿倍野筋4丁目

あべのすじ よんちょうめ



つきつき ふる いえ こわ
次々と古い家が壊されている。

きみ せいちょう あべのすじ か
君の成長とともに、阿倍野筋も変わっていく。

ただ、

す ひび おも で
ここで過ごした日々の思い出は

か きみ
ずっと変わらず君のチカラになる。

だろう。

きみ ふるさと あべのすじ かぞく はしよ
君の故郷、阿倍野筋は、家族のはじまりの場所。